

平成十七年一月二十一日提出
質 問 第 五 号

幼保一元化に関する質問主意書

提出者 中根康浩

幼保一元化に関する質問主意書

タテ割り行政を排し、子どもや親の視点から就学前の子どもの「育ち」を再考する必要があると考える。従って、次の事項について質問する。

幼保一元化について

政府が予定している「総合施設」では保育士資格と幼稚園教諭資格は、相変わらず別々に存在することに
もなるなど、文部科学省所轄と厚生労働省所轄が混在されることになり、「タテ割り行政」は残存すること
になる。このことにより、「幼稚園」「保育所」「総合施設」の「三元化」という結果になり、かえって現
場の混乱ととまどいを助長することになる恐れがあると考える。政府は「総合施設」にとどまることなく行
政の一元化を前提とした本当の意味での「子どもの育ち」の場所の一元化を推進すべきと考えるが、政府の
見解を答弁されたい。

右質問する。